

○新春写真講座「自分の写真を振り返り、新しい一歩を踏み出すために」

「土田ヒロミ氏による写真ワークショップ」参加者 60名、写真提出 30名、4時間の学び

1月26日(日)、恒例の新春写真講座が、朝日新聞静岡総局の会議室をお借りして開かれました。講師には、今回で3年連続、写真家の土田ヒロミ氏をお迎えすることができました。写真を土田先生に見てもらいたいという方が30名。中央のテーブルいっばいに並べたそれぞれの写真を囲んでの土田先生のお話や作者との対話の中に、先生の「この作者のこれから」を探し出そうという温かな思いがひしひしと感じられました。

参加された伊豆下田支部長の矢島さんから、この夜さっそく届いたメールの一部をご紹介します。

今日の写真講座、お疲れ様でした。「写真をたくさん持ってきて」と言われていて、「たくさん」の見当が付かず、(10枚では少々多いかな)と思い、遠慮して8枚にしたのですが・・・いやはや、他の方々の枚数が多いのには驚きました。でも、確かに私は数こそ少なかったのですが、土田先生に多い方と比べて(簡単にあしらわれた)とは、全く思いませんでした。むしろ1枚1枚丁寧に見ていただいたという印象を持ちました。その中には、自分も気付いていない「情緒的なもの」や「無機的なもの」などと分類して評価していただき、とても参考になりました。それにしても、土田先生という方は、言葉を選び、丁寧に解説してくれる方ですね。たいへん感銘を受けました。

お知らせ：土田ヒロミ写真展「フクシマ」が2014年ニコンサロン特別企画展 Remembrance3.11 として、銀座ニコンサロン、他で開催されます。(2月26日～3月11日)

○『ベトナムの秘境を行く』全日写連県本部

朝日新聞静岡版に連載 (1月15日～)

「写真とミニエッセイを新聞に載せましょう。それも10回くらいの連載で。」と県本部長の西山良太郎さん(朝日新聞静岡総局長)の呼びかけにより、『ベトナムの秘境を行く』の連載が1月15日の朝刊から始まりました。

当初、旅行が終わったらなるべく早く載せようという企画でしたので、急ぎよ、事務局(全員が旅行に参加)が中心となって対応することに。若い記者、福地さんも交えて、掲載写真等を決めていったという次第です。この県本部創立60周年記念事業「ベトナム北部撮影旅行」は、もちろん参加者がすべての費用を負担。県本部からの補助は一切なし。しかし、ありがたいことに大変格安でした。それは、旅行日程を作った写真家の外山ひとみさん、実行委員長の鈴木文雄さん他、そして、協力してくれた旅行社のおかげでした。

2014年 平成26年 1月15日 水曜日 13版



ベトナムの秘境を行く

1 少数民族の村、驚きの旅 全日写連県本部

ベトナムの少数民族の村、驚きの旅。全日写連県本部の企画で、ベトナム北部の少数民族の村を訪ねた。写真家の外山ひとみさんと、朝日新聞静岡版の記者、福地さんらによる。ベトナム北部の少数民族の村を訪ねた。写真家の外山ひとみさんと、朝日新聞静岡版の記者、福地さんらによる。

野積みの美しい石垣に囲まれて

ホテルをバスで出発し、美しい山々を縫うように続く道に驚かされて1時間半余り、中国との国境に近い村フォーカオに着いた。野積みの美しい石垣に囲まれた十数軒のモン族の住居。築100年以上になる古い家の高彩色の土壁。軒先には、収穫した豆が

つるされていた。老主人が「代々続いてる家だ」と誇らしげに話してくれた。いつの間にか、人々が集まって大騒ぎに。明るく元気な子どもたちが、人なつこい笑顔で歓迎してくれた。(全日写連 工島勇)

全日写連県本部創立60周年記念の取材旅行で、ベトナム北部のハザン族に入った会報21人を食む一行




◎ 平成26年度総会が開かれます。平成26年4月26日(日)、午後3時から総局で。そのあと懇親会が開かれます。3月の支部長会議はありません。詳細は後日ご連絡します。(事務局 中村)